

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	半田市立つくし学園		
○保護者評価実施期間	2025年12月14日 ～ 2025年12月22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48 (回答者数)	34
○従業者評価実施期間	2025年12月14日 ～ 2025年12月22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	19
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の子どもの見立てを発見、担当保育士、公認心理師等多面的に行って個別支援計画を立案・実践しており、高い支援力がある。	日々の活動における事前の話し合いや振り返りを確実に丁寧に行い、支援に活かしている。	子ども理解や、支援についての学習を重ね、根拠に基づいた支援ができるようにする。
2	児童発達支援センターとして、地域のインクルージョンやスーパーバイズ・コンサルテーションをすすめ、巡回療育支援等を通して直接・間接の支援をしている。	多職種のチームでの巡回や、セラピストの直接支援、または支援の必要な子のスクリーニングなど、様々な観点で行っている。	地域の幼稚園・保育園の職員に、事業の意味や効果を理解してもらえるような助言や対応ができるように、担当職員のスキルアップに取り組む。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の就労支援や、きょうだい支援など、保護者の要望に応えきれていないところがある。	療育の主旨として根本にあることと、保護者の要望が噛み合っていない。 時代の変化に合わせた対応ができていない。	事業所の療育において大切にしていることと、保護者の要望とがそれぞれ尊重される別の解決策を探していく。 家族支援について新しいアイデアを探る。
2	公立園故に、定期的な職員の異動があるため、知識や支援の向上が継続していかない。	異動があるとしても、在籍期間中での学習も足りていない。	園内研修等で、サービスの仕組み等の知識を入れる。 異動のない、或いは長期間在籍できるような人員配置についての要望をする。
3			